

逗子市内全公立小・中学校 芝生化で緑の校庭へ

公明党 高野 典子議員

小・中学校の校庭芝生化
来年度から順次実施予定

問 校庭の芝生化実証実験について、9月にはその結果が分かるとしていたが、どうだったか。また、市内全公立小・中学校の校庭を芝生化する方針でいくのが改めて伺いたい。

教育部長 検証の結果、専門業者でなくても植え付けに問題がないこと、十分な水と直射日光が当たる場所であれば、土壌改良せずに芝生化は可能

であることが分かった。芝生化の条件として、児童・生徒、そして地域の方々との連携が不可欠である。今後、学校側の要望、意見を聞き、諸条件、環境面の整備をしながら実施校を決定していきたい。

行財政改革「公共施設の
統廃合」進捗よく状況は

問 公共施設の統廃合について、担当所管で検討を行い、それぞれの再整備計画を作成し、行財政改革推進本部にお

いて各検討対象施設等の再整備計画案の検討を行うとなつてはいるが、現在、どの辺りまで進んでいるのか。

市長 市営住宅については、具体的な対象施設を絞って、その可能性について関係機関との調整、検討を、第一運動公園については、議会から指摘された様々な課題をクリアすべく、検討、調整を、小坪飯島公園については、小坪地域全体の今後の在り方も含め、方向性を見いだすべく検討をしているなど、それぞれの担当所管で検討が進んでおり、再整備計画がまとまり次第、行財政改革推進本部で位置付けをして、実現化できるものから予算化していきたい。

最低敷地面積 法制度導
入への逗子市の取り組み

問 敷地面積の最低限度の指定は、私有財産の運用を妨げる可能性もあり、土地の所有者への大きな規制、過剰な負担になるので、市内の土地所有者や市民の意見をしっかりと把握したうえで、市民総意となるくらい慎重に進めていってもらいたいと思うか。

市長 最低敷地面積の制度導入は、個人の財産権の制限とすることなので、これを単純に導入できるとは思っていない。全市民的なコンセンサスと合意形成が重要だと受け止めており、今お住まいの皆様との合意形成に十分留意しながら進めていきたい。

「はつらつシニアパス」等
高齢者への支援を

問 高齢者施策の一つとして横須賀市が京急バスと協力して取り組みを始めたはつらつシニアパスについて、本市にも導入する考えはないか。

市長 横須賀市では、緊急経済対策の財源を使い、2年間限定で実施することだが、本市では、緊急経済対策の財源を教育施設の整備に重点配分した。本市の場合、地域が狭いということで、利用範囲が限定的で現実問題としても難しいと受け止めている。※この他に、ごみ問題についての質問がありました。